



愛の手であなたをつつむ 被害者支援

# 会報 ふくしまの空

発行 公益社団法人ふくしま被害者支援センター  
〒960-8002 福島市森合町14-6  
事務局 TEL&FAX 024-533-7830  
ホームページアドレス <http://www.vsc-fukushima.net/>

## 被害者支援の活動について

福島県警察本部長 和田 薫



犯罪や事故による被害者の方々を支えるため、日々御尽力されている公益社団法人ふくしま被害者支援センターの職員の皆様方、そしてこれら活動を支えていらっしゃる会員等の皆様方には、平素より、警察が行う犯罪被害者支援業務に対しまして、御支援・御協力を賜っておりますこと、厚く御礼を申し上げます。また、昨年は新型コロナウイルス感染症対策のため、これまでとは異なる支援対策が求められ、被害者支援センターの職員の皆様にとりましても、御労苦、御心配もあったことと思います。その御苦勞に対し重ねて感謝申し上げます。

さて、県内の治安情勢につきましては、皆様方のお力添えをいただきながら、犯罪や事故のない安全で安心な社会の実現を目指し、様々な取組みを推進した結果、昨年は刑法犯の認知件数が18年連続で減少し、交通事故の発生件数、死者数も減少しております。しかし、そうした中であっても、犯罪や交通事故は日々発生し、その被害者や御家族は直接的な被害に加え、心身の不調、経済的困窮、風評など被害後に生じる様々な問題に悩まされている現実があります。県警察では、こうした被害者等の方々現状を踏まえ、各種公費負担制度の運用や警察本部に配置している臨床心理士によるカウンセリング、犯罪被害者給付金制度に基づく給付金の支給などの支援を行ってきました。

一方で、昨年は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、例年実施してきた広報啓発のための各種会合等を中止せざるを得ない状況が続きました。そのため、代替え措置として、被害者御遺族の手記を紹介する動画の作成と県警ホームページ等での配信、「被害者に優しいふくしまの風運動」の広報リーフレットの作成と市町村の窓口等への配布、各報道機関のご協力を得た「犯罪被害者週間」における新聞掲載やテレビ・ラジオにおける広報など、社会全体で犯罪被害者等を支える必要性・重要性について、より一層県民の理解を深めるための活動を、感染症の防止対策と両立しうる形で実施いたしました。

本年も新型コロナウイルス感染症の脅威が続く中、犯罪被害に遭われた方に継続的に適切な支援を実現するには、様々な工夫や配慮が求められます。また、これら支援は、決して警察だけで成しうるものではありません。ふくしま被害者支援センターをはじめ関係機関・団体が互いに連携協力しての取組がなければ、被害者の方々に対する充実した支援は実現できないと考えております。

県警察は、厳しい情勢の中でも、きめ細かな途切れのない支援を行い、被害者の方々が一日も早く平穏な生活を取り戻していただけるよう、ふくしま被害者支援センターや関係機関・団体とより一層、緊密な連携を取りながら被害者支援の充実・強化に取り組んでまいりますので、引き続き皆様方の御支援、御協力をお願い申し上げます。

結びに、皆様の益々の御活躍とふくしま被害者支援センターの更なる御発展を祈念いたしまして御挨拶とさせていただきます。

# 被害者支援活動の実施状況 2020年1月～12月分

## 1 総支援件数

407件

■電話 308件 ■直接支援 89件 ■面接 10件

## 2 相談の内訳

### ■電話相談内容

被害内容	件数	被害内容	件数
殺人(傷害致死)	14	財産的被害	5
強姦性交等	41	DV	7
強制わいせつ	28	ストーカー	2
その他の性暴力	115	虐待	1
暴行・傷害	5	その他	64
その他の身体犯	21	計	308
交通事故	5		

### ■直接支援内容

支援内容	件数
警察付添	2
裁判等付添	5
法律相談付添	5
病院付添	5
自宅訪問	3
その他	69
計	89

### ■面接内容

支援内容	件数
強制わいせつ	1
その他の性犯	5
その他の身体犯	2
その他	2
計	10

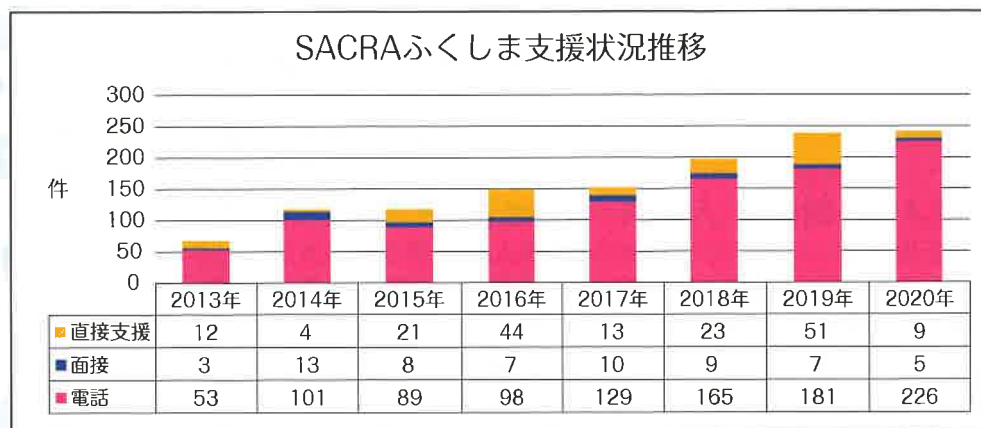
# 上記の内「SACRAふくしま」の相談状況 2020年1月～12月分

## 1 総支援件数

240件

■電話 226件 ■直接支援 9件 ■面接 5件

## 2 SACRAふくしま支援状況推移



## － センターニュース －

### ●各種研修会を開催

定期的に開催していた研修会は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催できない期間がありましたが、沈静化した時期に各種研修会を開催しました。

インテーク会議では、県警・大学院教授・臨床心理士・公認心理士・弁護士を講師に招き、ひとつひとつの相談や支援への対応方法についてアドバイスを頂きながら、支援が適切にできるよう学びました。

また、被害者支援ボランティア活動員として活動していただける方7名に対し、関係機関の専門知識を有する方から被害者心理と支援の必要性について学ぶ研修を行いました。



▲全体研修会の様子



▲養成研修の様子

### ●【zoom2020】解離に苦しむ当事者を支援するための養成講座

令和2年12月20日(日)、NPO法人レジリエンス主催の研修がオンラインで開催されました。

今回は、研修を受講した支援活動員さんに、研修の感想を頂きました。

#### 【zoom2020】解離に苦しむ当事者を支援するための養成講座を受講して

(NPO法人レジリエンス)

この度は、令和2年12月20日に、【zoom2020】解離に苦しむ当事者を支援するための養成講座を受講させて頂き、ありがとうございました。

前回、第26回SAFER研修プログラム(令和2年11月28日～29日)で開催された「トラウマの影響」講義内の解離について、さらに詳しく講演頂きました。

人は命の危機にさらされたエピソードにより、その出来事から自身を守るための防御本能として、『健忘』『解離』『解離性同一障害』が出現する可能性があり、それは「命を守るための正常な反応ではないか?」との考え方の下、症状、障害とどのように共に生きていくのかがテーマの中心となりました。

解離の9割は幼少期の性虐待が原因とのデータもありますが、他人に開示できる内容では無いこと、まだまだその現状を受け入れる社会体制が日本では確立されていないため、回復へのステップが踏みづらいこと。子どもの頃に抱えきれない状態であっても、大人になるに従い、抱えきれれる様になるが、それでもなお周囲のサポートは必須となります。

講師である中島幸子氏は解離性同一性障害(DID)を開示されておりますが、周囲から見ると非常に扱いづらい人と距離を置かれ、自身でも「自分は誰なのか、何が現実なのか」に混乱した時期もありました。しかし人格を統合させるのではなく、パーツとして、全て必要な人格であり、共存を受け入れることで、自分のパーツのシステムを理解して生活を送っているとのこと。「解離=障害」という見方だけではなく、「生き延びる手段として得た正常な反応」と自身が受け入れることが重要であり、解離、パニック状態時の対応として、五感を使う、いったん外に出る、安全な人とつながる等、自身に合わせた対応方法を複数持つことは、安心した生活の獲得、自身を落胆しない防御策ではないかと話してくださいました。

全体的に「解離性同一障害」の症状、当事者の感覚、思考、反応という部分に集中しての講座となりましたが、当事者にとって、解離に至るまでの事件や体験は、今まで開示できなかった内容であり、その後も自身の扱いにくい反応は、支援者が介在することによって、生きやすい環境、生きていても良いんだという現実感情を取り戻すきっかけにもなるのではないかと考えさせられました。そのためには支援者側が解離に対しての知識を正しく学ぶことは必須となるのではないのでしょうか。

今後も性犯罪、性虐待を含め、力を与えられない子供への暴力について理解することができる様、今後も真摯に学んでいきたいと思えます。

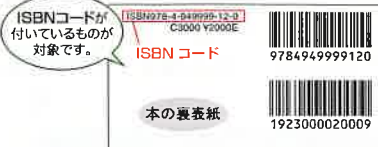
支援活動員M・M

# ホンデリング ～本で広がる支援の輪～

本のご寄付で被害に遭われた方々への支援のご協力をお願いいたします。

このような本が、支援につながります

★本の場合



★CD・DVD・ゲームの場合



お申し込み方法

不要になった本・CD・DVDを箱に詰める。

5冊以上



ふくしま被害者支援センターに電話する。

(024-533-7830)



宅配業者がご指定の時間に引き取りに伺います。(1回の集荷は3箱以内)



査定され、買取相当額が当センターに寄付されます。

※発送費用は不要です。



## 【仕分けのツール】



提携先の(株)バリューブックスのサイトでは、スマートフォンから写真を撮ると、大まかな寄付金額が分かるサービス「本棚スキャン」があります。仕分けの際にぜひご活用ください。「本棚スキャン」へは、左記QRコードからアクセスしてください。

## 【寄付につながらない商品】

以下の商品はお取り扱いができませんので、送らないでください。

〔ISBN〕のない本／百科事典／コンビニコミック／個人出版の本／マンガ雑誌／一般雑誌／同一タイトル本11点以上／シングルCD／投票券等特典付きCD／起動しないゲーム機・ソフト／ケース及びディスクが欠品しているゲーム・DVD／規格品番がないもの／違法なもの／海賊版・コピー・サンプル〔児童買春・児童ポルノ禁止法〕(関連法令含む)に抵触する恐れのある全ての商品／「警察官実務六法等の警察法令関係」の書類は、飽和状態のためご遠慮ください。

2010年以前に出版された本の多くは、価格がつけられないためご遠慮ください。

## 【募金箱設置のご案内】

施設関係や企業及び団体に設置のご協力をお願いしています。

ご連絡いただければ、募金箱をお届けします。



## 賛助会員募集中

当センターは、活動経費の多くが皆様の会費、ご寄付により運営されています。

年会費 ○ 個人…1口 2,000円より ○ 法人・団体…1口 10,000円より

福島県公安委員会指定「犯罪被害者等早期援助団体」  
公益社団法人ふくしま被害者支援センター

<http://www.vsc-fukushima.net/>

〒960-8002 福島市森合町14-6 (福島中央郵便局向かい) TEL/FAX 024-533-7830

\*当センターは公益法人です。会費を納めたり、寄付をした場合は税法上の優遇措置があります。  
\*寄付は金額を問いません。